

# とちのみ新聞

令和5年6月号  
 社会福祉法人のぞみ会  
 浮田とちのみ子ども園



五月十五日(月)に、三徳園さんから年長児さんへいちご狩りのお誘いをいただきました。どうやっていちごが出来るのか、ミツバチの役割など、いちご狩りの仕方だけでなく、色々な事を教えていただきました。ハウスの中は甘い香りがいっぱい、子ども達の目も、キラキラ輝いていました。自分で収穫して食べる喜びを感じながら「あまーい!」「おいしい!」と真っ赤ないちごを口いっぱい頬張っていました。いちごが少し苦手なお友だちも、お家の人への「お土産にする」と収穫を楽しんでいました。帰りにはこども園にも、たくさんのいちごをいただき、次の日にみんなで食べさせていただきました。

六月五日(月)に、防災教室を行いました。上道公民館の館長さんや瀬戸内市のとつとくクラブのみなさんが来園され、年長児二十八名が防災について学習しました。避難リュックの中身・新聞紙でコップ作り・地震が起きたら:という内容で進めてくださいました。災害が起きた時に必要な「防災リュック」の話では、ねずみのねずつち、もぐらのもぐつちがどんな物があったらいいかな:と、一つ一つ説明してくれました。その後は防災リュックの中に入れたらよいものを見せてもらいました。「これなら家にある!」「これはないから用意しないと!」と子どもたちは自分のおうちのことを思い浮かべていました。「リュックは包帯代わりにもなるし、お皿に敷けば何度でも使えるよ」等分かりやすく教えていただき、子どもたちは「へえ〜っ」とびっくりしながら聞いていました。コップがない時には新聞とビニール袋を使うといいと言うことを教えていただき、子どもたちも実際に新聞とビニール袋で作ったコップで水を飲んでみました。最初はなかなか上手く飲めず、こぼしてしまう子もいましたが、コップの向きを変えたり位置を調節したりしながら飲むことが出来ました。「地震が起きた時にはどうしたらいい?」という問いかけに、子どもたちがダングムシのポーズができたことを誉めていただきました。園で月1回行っている避難訓練が子どもたちの中に定着して来ているようです。これから台風のシーズンもやってきます。こども園でも、もしもの時に備えて備蓄品の点検など見直しておこうと思います。



今年度は、なぜか行事の日に限って雨が降り、いろいろな行事が日にちや内容を変更することが続いています。梅雨入りも五月下旬という速さで、雨もしつかり降るので、子どもたちも大好きなお外遊びがなかなかできません。一学期のビックイイベントである運動会も、本番当日が大雨で運動会は延期となりました。延期となった日も朝から怪しい天気、ひやひやの中運動会がスタートしました。プログラムが終盤にかかったころ、雨がポツポツ降り始め、最後のフイナールはできませんでしたが、コロナ感染症の制約がほとんどない運動会が初めてできました。雨で全体練習が十分できませんでしたが、初めての親子競技に子どもたちはもちろん、保護者の方々も力を出してください盛り上がり、親子のみなさんの輝く笑顔がはじけていました。

初めての運動会に参加した!2歳児さんは、運動会に向けてかけっこやダンスの練習も楽しみ、「うんどうかいするよ!」「かけっこすき!」と、運動会をとても心待ちにしていました。当日は、お父さんやお母さんの顔が見えて、いつもとは違う雰囲気、少し不安そうな表情も見られましたが、元気いっぱいダンスやかけっこを楽しみ様子が見られました☆お兄ちゃんやお姉ちゃんの競技を見て「がんばれ〜!」と手を叩いて応援することもできました。初めてのことばかりの運動会でしたが、とても楽しい思い出になったようです。今から、来年度の運動会もさらなる活躍が楽しみです!

ふたばさんは、本番の会場の雰囲気に少し圧倒されたようで、恥ずかしくなったり照れ隠しでおふざけしてみたり:これも成長過程の一つです。わかばさんは、園庭一周のかけっこやリズム表現を頑張っていました。ちよっとしたハプニングにも負けず堂々としていました。あおばさんは、最後のリレーはもろろん、なるこの演舞やオープニングの入場行進など、こども園の中のお兄ちゃんお姉ちゃんの役割を立派に果たしていました。

今年度も折り紙教室の大森さん、絵本の読み聞かせ教室の矢部さん・横溝さん、そして、こども園の見守り隊の布井さんの野菜教室:いつも、地域の方々のおかげにたいています。本当にありがとうございます。一学期も終わりに近づいたこの時期にご挨拶となりましたが、「今年度もどうぞよろしくお願い致します」

五月二日(火)八十八夜茶会を行いました。「夏も近づく八十八夜:」と歌われるように、立春から数えて、八十八日目にあたる八十八夜の日に、ちょうど新茶が出回る季節です。初物(はつもの)のお茶を飲むと、一年間、無病息災で過ごせるとの言い伝えがあります。浮田とちのみこども園の子どもたちも、無病息災を願って「にがい〜」と言いながらも新茶とカラフルこんぺいとうをいただきました。



五月十九日(金)0・1・2歳児クラスの親子シンシブデーを行いました。今年度からの取り組みです。当日はあいにくの雨だったので、お部屋での取組になりましたが、各ご家庭で作ってきた弾んでいました。各ご家庭で作ってきたお弁当を食べながら、職員とおうちの様子や園の様子を情報交換できました。四月二十五日(火)に予定していた3歳以上の園児の親子シンシブデーは、雨のため子どもたちだけで遠足ごっこをして楽しみました。今年行事の日が雨になることが多くて困ります。

四月十八日(火)生活安全課の方による交通安全教室がありました。横断歩道や踏み切りの渡り方を、ペープサートで楽しく教えてくださいました。信号の絵を見て、「赤は?」「止まれ!」「青は?」「すすめ!」等、大きな声で答えていました。



「歩く人が見るのは、縦の信号・横の信号どっちでしょう?」というクイズは難しかったようで、「うーん:」とみんな考えこんでいました。

地域に住む布井さんに土づくり畝づくりなどをご指導していただきながら野菜作りを頑張っています。今年度は、種蒔祭をして子どもたちと一緒に種をまいたり、苗を植えたりしました。会の中で、子どもたちに布井さんの紹介をすると「布井さーん」と親しみをこめて呼んでいました。苗を見せて「何の野菜ができるでしょう?」とクイズ形式の質問をした後、1・2・3歳児さんは種まき、4・5歳児さんは苗植えをしました。カップのまま植えようとする子どもたちもいる中、「うしろを押して、チョコキの手にして:」と教えてくれる物知りな子どももいました。「まだしたい!」とやる気いっぱいの子どもたち、みんな目を輝かせて楽しく植え付けをしていました。その後も、毎日欠かさず水やりをしてくれたり、苗の成長を見に行ったりしています。昨年度末に植え付けていたサニーレタスやラディッシュ、ブロッコリー、スナップエンドウなどを収穫して、各クラスで調理して、新鮮な野菜の味を味わっています。



六月十二日(月)に、きゅうりの初収穫を子どもたちがしました。「よく見て、ここを切るんよ」と、ヘタの部分の指さして伝えたのですが、間違えてツルの部分を切ってしまった子どももいました。いろいろなありますが、これからも、体験を通して生きた学びがあればいいなと思っています。

## 廃品回収のお知らせ

毎月1回、保護者会による廃品回収を行っています。地域の皆様も下記の回収物をご自宅にある場合にはお持ち寄り頂けると助かります。

- 【回収品目】段ボール・新聞・雑誌・雑紙・シュレッターごみ・牛乳パック・アルミ缶

【回収できないもの】布・スチール缶

【回収場所】浮田小学校正門前道沿い

こども園職員駐車場入り口

【お願い】・缶は水洗いをして、袋に入れてください。

牛乳パックは水洗いをして、切り開いて紐で縛ってください。



### 今後の廃品回収予定

7月27日(木)	8月24日(木)	9月28日(木)
10月26日(木)	11月26日(木)	12月28日(木)
1月25日(木)	2月29日(木)	3月28日(木)

※今年度の回収日は、月末木曜日になっています。回収日3日前よりお持ち寄りいただけます。